

## 掲示板



### ヤマギシだより

今年も事務所横のバラ園に花の季節が訪れました。真紅、薄紫、淡黄、ピンク・・・色とりどりのバラが咲き誇っています。皆さん、是非、見に来てください。

車は駐車場に止めてバラ園の中もゆっくりとご覧くださいね。バラのお世話をしている亀井亮治さんによると、6月中旬までが見頃ということです。



【村のことでのお問い合わせは TEL45-5550 (村人窓口) へお気軽にどうぞ】

### 健康の駅長に就任されました。

藤森光儀さん 北村武久さん よろしくお願いたします。



### 編集後記

平成19年度の総会も終わり本年度の事業がスタートしました。会長の挨拶にもありますように、事業のマンネリ化にならないよう、十分話し合っ進めていかなければならないことに気づかされました。そして、予算の使い方に無駄のないように推し進めることが大切です。

話が変わりますが、先日の気象情報をみていますと東京や香川のほうで水の心配があり節水をはじめているという報道がありました。こうして、予測や対策の取れることは大切だと思います。今年は、壬生野地域まちづくり協議会でも自主防災組織づくりに取り組むとのことです。特に地震の予測は難しいわけですが、対策の一つとして自主防災組織づくりは、少しでも、私たちが地震からの恐怖心を取り除いてくれるものとなることでしょう。

○広報を担当します、広報・公聴実行委員会のメンバーを紹介します。

平地章昌、宮田美智子、山本眞司、岡野喜子、松馬小百合、北村節子、奥井陽子、福森功、岩永一男、細野仁、川端明子、増田裕充

◆◆◆ご意見・お問い合わせは下記までお寄せ下さい◆◆◆

発行 壬生野地域まちづくり協議会 広報公聴実行委員会  
事務局 三重県伊賀市川東 1659-5 壬生野福祉ふれあいセンター内  
Tel・Fax 0595(45)6270 E-mail tokimeki@ict.ne.jp URL http://www.mibunet.net

# コミュニティ壬生野 第26号



壬生野地域まちづくり協議会広報

平成19年6月1日発行

## 壬生野地域まちづくり協議会平成19年度総会の開催

平成19年4月28日、壬生野地域まちづくり協議会平成19年度総会が、希望ヶ丘生きがいセンターで午後7時30分より、来賓に西出支所長、山岡市会議員、渡久山市会議員、北村協議会顧問様方がご出席のもと開催されました。

総会は、協議会の役員・運営委員・まちづくり委員で構成され、佐藤常夫議長の進行のもと、18年度事業報告、決算報告、19年度新役員、19年度事業計画、予算が熱心に話し合われ、承認されました。

今年度は、予算大幅減額のもと、事業について継続をすところも新しく計画するところも創意工夫した自主的な取り組みを必要としています。



## ノハナショウブ観察会を行います

6月17日(日)壬生野小学校の児童と保護者のみなさんを中心に、まちづくり協議会主催のノハナショウブ観察会を実施します。

西之澤に自生しているこのノハナショウブは、県天然記念物に指定され、その保護を目的に株の数を数えたり、写生をし、その実態を地域で把握していこうという取り組みです。

なお、この観察会への参加申し込みは壬生野小学校で取りまとめています。



平成18年度ノハナショウブ観察会より



## — 平成19年度始動にあたって —

会長 山本和生

平成19年度が始動しました。

4月28日、平成19年度定期総会において、みなさまのご承認を頂き、平成19年度も平成18年度に引き続き、会長として働くことになりました。一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

さて、平成19年度は、伊賀市の助成減に伴い予算面で大幅な縮小を余儀なくされましたが、創意と工夫を出し合って、効率のよい、効率的な予算執行を行えば、むしろ平成18年度以上の効果を期待することができます。役員、運営委員、まちづくり委員のみなさんと鋭意努力をして参りますので、よろしくご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

ところで、平成19年度についてももう少し付言いたしますと、まず第1に今年度最もウエイトを置いて取り組むプロジェクトは、壬生野地域のみなさんといっしょに展開する防災問題であります。先の4月15日に体験した震度5弱の地震にみられるように、私たちの周辺にはつねにいつ、どこで起こるか分からない直下型巨大地震の恐怖がつきまとっていますし、一旦地震が起これば物的人的被害は測りしれないものと思われまます。比較的地震の少ない壬生野地域だけに従来、ともしれば等閑視しがちなであった防災問題を、今年度はみなさんの切実な体験を機会に、敢えて積極的に取り上げ推進することにした次第です。

具体的には地域防災特別実行委員会を立ち上げ、区長を中心に区と協議会が連動する「自らの手で 自らを守る」取り組みです。

複数年意またがる取り組みにいたしますが、

「連絡体制、緊急連絡網の確立」

「防災マップづくり、災害時要援護者マップづくり」

「避難場所の確保と周知徹底」

「防災備品の整備」

「自主防災組織の活性化」

など 安心して暮らせるまちづくりを推進いたします。

第2に、地域住民のみなさんが参加頂くイベントですが、大人も子どももできるだけ多くの方に参加頂けるよう、また総花的にならないよう、マンネリ化しないように、「壬生野らしさ」が出せるものに工夫したいと考えています。

第3に、平成20年度4月に完成が予定される「壬生野地区市民センター」(仮称)ですが、地域住民のみなさんの名実ともに「市民センター」となるよう環境づくりを考えています。ご要望やご意見をお寄せください。

以上 3点 平成19年度の事業について申し述べましたが、5つの専門委員会(人権・同和、健康・福祉、生活・環境、教育・文化、産業・交流)及び5つの実行委員会(地域防災特別、窓口運営、地域防犯、地域イベント、広報・公聴)が、それぞれ事業・活動を展開いたします。この1年の積極的ご支援を改めてお願いするとともに、みなさまのご健康とご多幸を祈念して年度始動のご挨拶といたします。

\*\*\*\*\*



## ◆ 平成19年度新役員の決定 ◆

18年度の役員の皆様ありがとうございました。壬生野自治協議会の創始期を地域住民の声を大事にしながらいくつかの事業を一步一步と前進をしていただきました。このことは19年度へと受け継ぐこととなります。

次に、平成19年度の新役員を紹介します。(敬称略)

|           |        |        |        |        |       |
|-----------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 会 長       | 山本 和生  | 幹事(区長) | 山下 謙一郎 | 幹事(区長) | 福森 晋  |
| 副 会 長     | 田中 清司  | 幹事(区長) | 三根 幸治  | 幹事(代表) | 亀井 亮治 |
| 副 会 長     | 藤田 眞   | 幹事(区長) | 中林 正彦  |        |       |
| 事 務 局 長   | 森川 幸生  | 幹事(区長) | 草山 靖雄  |        |       |
| 事 務 局 次 長 | 平地 章昌  | 幹事(区長) | 舘 忠蔵   |        |       |
| 会 計       | 宮田 美智子 | 幹事(区長) | 岸 幸雄   |        |       |



## ■ 壬生野地域防災対策学習会 ■

壬生野地域まちづくり協議会では今年度から「地域防災特別実行委員会」を設置し4月15日の三重県中部地震(震度5弱)、また、予想される当会・南海巨大地震など自然災害に備えて地域住民の安心、安全対策を講じ、年間を通して「自らの手で自らを守る」を合言葉に取り組めます。

実行委員会(山本会長を委員長に役員が委員となり構成)では、講師に伊賀地区民生・児童委員協議会会長の藤井明和様を招聘して学習をしました。

学習の中心は、柘植地域街づくり協議会健康福祉の推進部会が先進地での学習や他の機関の協力を得ながら行い、そのマニュアルをもとに柘植地域の各地区、柘植地域街づくり協議会で「災害時安否確認マニュアル」の作成を実施していったことでした。

その中でも特に「安否確認のネットワークづくり」についての具体的な取り組みは、

- 「自主防災組織」の基は「区」である。  
一番小さな単位である「組(班)」を基本単位とする。
- 「組(班)」では、安否確認リーダー、安否確認サブリーダーを決定する。
- 「自主防災組織長」(区長)は、各安否確認リーダーの報告により、全体の安否確認を行う。
- さらに、「組(班)」では要援護者への避難支援者をあらかじめ複数決めておく。
- 「区」と「協議会」とは密接な連携を日常から積み重ねる。  
などのことでした。

私たちの地域でも学習したことを参考にさせてもらい、みなさんの声を聞かせてもらいながらこうしたマニュアルの策定と災害時の「安否確認マップづくり」や「防災マップづくり」をすすめ、非常時の自主対策をしていきます。